

利府町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

カーボンニュートラルの達成と安全・安心なまちづくりの実現
～森・街・海の循環～



1. 計画の位置づけ・期間

- 2022年10月の「利府町ゼロカーボンシティ宣言」を受け、新たに地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定するもの。
- 計画期間：2030年度まで
(基準年:2013年度 長期目標:2050年度)

平成25年	...	令和2年	令和5年	令和6年	...	令和12年	...	令和32年
2013年	...	2020年	2023年	2024年	...	2030年	...	2050年
基準年度	...	現状年度	策定年度	開始年度	...	目標年度	...	長期目標年度
				計画期間			改訂	
				← 対策・施策の進捗把握 定期的に見直しを検討 →				

2. 温室効果ガス排出量の現状

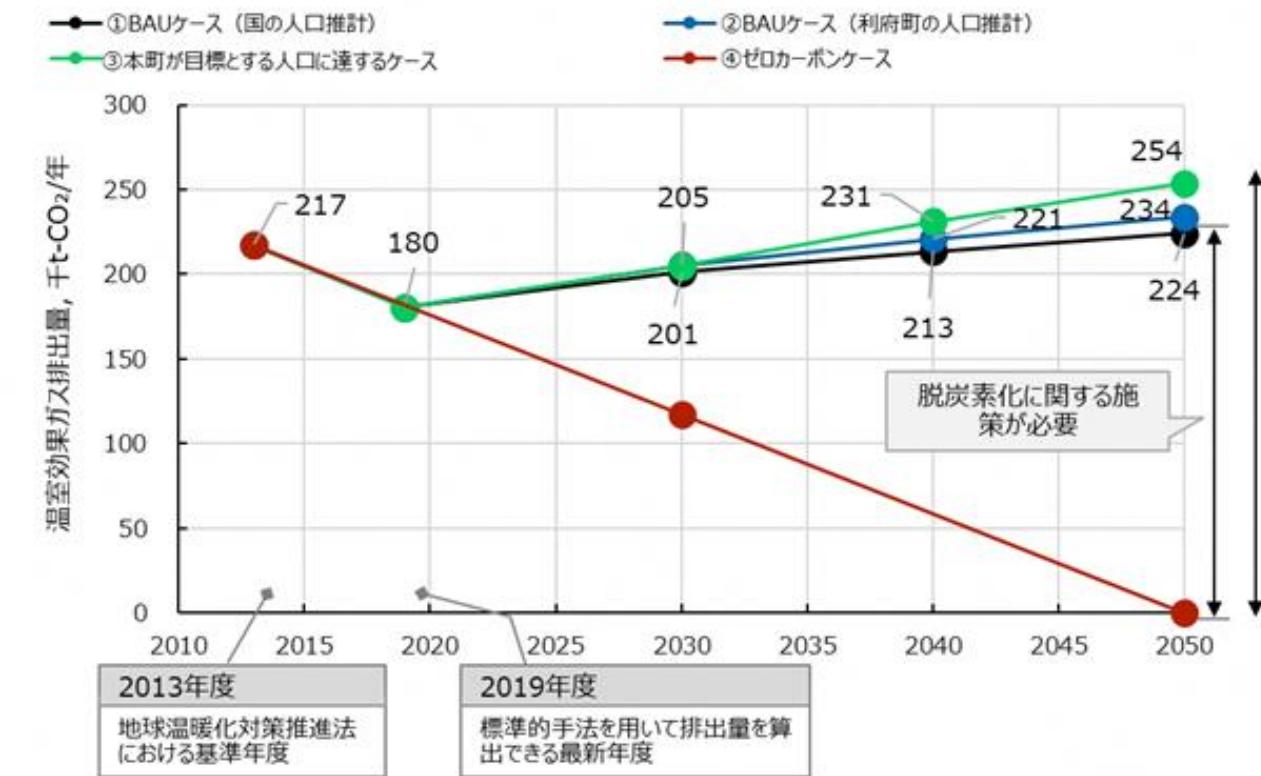
- 利府町の排出量推計値は約18万トン-CO₂（2019年度）



温室効果ガス排出量算出に必要な統計データが公表されている最新年度

3. 将来推計と脱炭素に向けての道筋

- 追加対策を実施しない場合（BAUケース）、森林吸収量を考慮しても2050年のカーボンニュートラルの実現は困難。
- 目標達成のためには、追加の対策が不可欠。



- 1 BAU（現状趨勢）ケース（国の人口推計）**
今後追加的な対策を見込まないまま推移した場合の排出量の推移（国の推計通り人口が増加すると想定）
- 2 BAU（現状趨勢）ケース（本町の人口推計）**
今後追加的な対策を見込まないまま推移した場合の排出量の推移（本町の推計通り人口が増加すると想定）
- 3 本町が目標とする人口に達するケース**
2060年度に本町が目標とする人口に達した場合（最も人口が増加した場合）の排出量の推移
- 4 ゼロカーボンケース**
一定の削減量で、2050年ゼロカーボンを達成する場合の排出量の推移

【中間目標（2030年度までの目標）】
2013年度を基準年として、2030年度までに▲87千t-CO₂/年（▲46%）の削減を目指す。

【長期目標（2050年度までの目標）】
2013年度を基準年として、2050年度までに▲217千t-CO₂/年（▲100%）の削減を目指す。

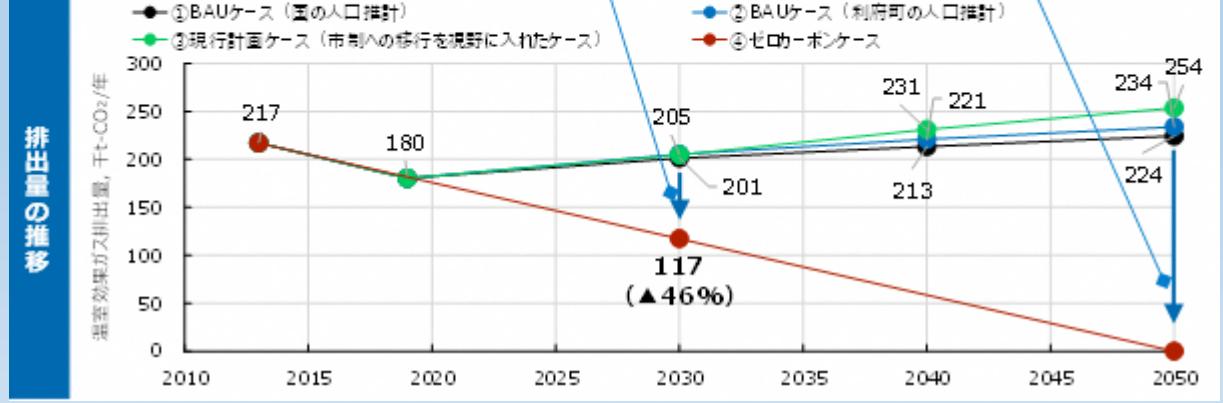
4. 将来ビジョンと脱炭素シナリオ

- 将来ビジョン：カーボンニュートラルの達成と安全・安心なまちづくりの実現 ～森・街・海の循環～



■ 脱炭素に向けたシナリオ：2030年までは意識の醸成が中心。

シナリオ	2024年度～2030年度まで ＜革新技術や脱炭素に関する意識の醸成＞	2031年度～2050年まで ＜革新技術の導入と社会変容の実現＞
	<ul style="list-style-type: none"> ・国目標に向け、太陽光発電の導入を促進する。 ・2050年脱炭素化に向け、町民・事業者の意識醸成（環境学習やエコツーリズムの実施等）を進める。 ・国の補助金等を最大限活用し、EVバス・バイオマス発電等の新技術や高効率設備の導入を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新技術が普及し、水素を用いる機器（FCVやボイラー）等の普及が十分に進む。既存技術についても技術革新が進み、高効率太陽光発電設備・省エネ機器等の普及が十分に進む。 ・町民・事業者の意識醸成が進み、環境に配慮した行動を取るようになる。（省エネ家電の購入等）



5. ビジョン実現に向けた施策と関係者の取組

- ビジョン実現に向けて5つの基本方針と主な対策・施策を設定。
- 町、事業者、町民それぞれの取組が必要。

方針	主な対策・施策	目標
方針1 積極的な再生可能エネルギーの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・工場・事業所屋根や空地への太陽光発電設備 ・蓄電池等の設置 ・事業所内空地への太陽光発電設備・蓄電池等の導入 ・バイオマス発電、バイオマス熱利用の実施 ・住宅屋根への太陽光発電設備・蓄電池等の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備の導入件数 (件) ・蓄電池の導入件数 (件) ・バイオマス発電量 (MWh)
方針2 ライフスタイル・ビジネススタイルの変革	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率家電 (省エネ家電)、高効率設備 (省エネ機器) の導入 ・製造設備、石油ファンヒーターをエアコンに切替える等、電化促進 ・断熱改修の実施 ・公共交通の利用拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率家電・設備導入、断熱改修への補助件数 (件) ・製造設備の電化・エアコンへの切替件数 (件) ・公共交通機関の増加本数 (本)
方針3 新エネルギーの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車のEV・FCV・PHV化促進 ・水素を利用する機器 (水素ボイラ、エネファーム等) の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・EV・FCV導入補助件数 (件) ・水素を利用する機器への補助件数 (件)
方針4 森林・海洋の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画に沿った町内森林の整備、適切な森林経営の実施、森林保全による温室効果ガス吸収確保対策、植林の実施 ・農作物等を活用したバイオ炭の製造・利用 ・未利用資源 (梨の摘果、牡蠣殻等) の利用 ・ブルーカーボンの利用促進、ブルーカーボンの活用に向けた検討の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した森林材積 (m³) ・ブルーカーボンに関する検討回数 (回)
方針5 町民・事業者の意識醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の再エネ利用や省エネ意識の醸成の促進 ・ごみの分別や生ごみ処理の推進と資源循環、エネルギーの有効利用 ・環境教育、環境学習の促進 ・環境学習を兼ねた観光イベントの実施 ・住宅屋根への太陽光発電設備・蓄電池等の導入 (再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ利用・省エネに関する町民への周知回数 (回) ・環境学習・イベントの実施回数 (回)

